

（最終日は午後八時半まで）



有卦千支羽子板

金伍陌圓也
(福引付き)

「有卦」とは幸運が続くことをいう。江戸時代末期には有卦の年回りの人には有卦絵といつて福にあやかつて頭文字の「ふ」のつく絵、たとえば富士、筆を送るのが流行した。羽子板の形は末広がり縁起の良い形をしており、逆さにすると縁起の良い富士山にも見立てられる。暦の上の年回りは六十年あり、千支は十千と十二支の組み合わせでできており、それぞれから一文字づつとり「千支」とよばれる。羽子板自体も縁起物であり、江戸時代は子供のいる家庭にお歳暮のかわりとして送るという風習もあった。

この縁起の良い「有卦千支羽子板」はその年まわりが有卦に入るのを願つて浅草寺歳の市にて毎年十二月十七日、十九日の三日間のみ売られる。一年を無事に過ごし、有卦千支羽子板のお役目は終わったなら浅草寺歳の市の羽子板供養に納めましょう。



「宝蔵門前 羽子板保存会」
「本堂前 大河屋」にて販売しています。
福引き(福引き所にて)
12月17日～19日(10時～17時まで)

羽子板供養

浅草歳の市の期間中、浅草寺本堂にて受付

羽子板は古来より縁起物で子供たちを病氣や邪氣から守ってくれるという役割も果たしてきました。買った方、持っていた方のお気持ちも入っていますので浅草寺歳の市の際に古くなった羽子板やお役目が終わってしまった羽子板をお寺に納めましょう。

十尺大羽子板

歌舞伎十八番 助六由縁江戸桜

日本最大の大羽子板です。十二月から浅草寺歳の市の最終日午前中まで本堂に展示、同日夕刻から浅草ビューホテル1階に展示されます。

羽子板保存会

各お店の羽子板が並んでいる東京歳の市羽子板商組合のお店。ここにくるとほとんどのお店の羽子板を見ることが出来ます。羽子板のお値段も交渉してみましよう。ここで「有卦千支羽子板」も売っています。



似顔絵コーナー

プロの漫画家やイラストレーターがあなたの似顔絵を描いてくれます。参加してくださいっている先生方をインターネットなどで検索してみてください。

手形コーナー

(午前九時から午後八時まで)

小：金伍陌圓也 大：金壹阡圓也

羽子板に朱墨で手形をつけます。その場で作ることができる縁起物です。お子様などのご健康や無病息災を願ひ、お子様の記録や浅草寺歳の市の思い出にしまししょう。

お絵かきコーナー

(十七日・十八日は午前九時から午後八時まで、十九日は午後一時から午後八時まで)

小：金伍陌圓也 大：金壹阡圓也

羽子板に絵具やクレヨンにて自由に絵を描いてみましょう。画材は用意してありますので、お子様との歳の市の記念にしましょう。また、この羽子板にて正月には羽根つきで遊んでみましょう。

東京藝大とのコラボレーション羽子板

未来の芸術家と職人のコラボレーション。今までなかった伝統工芸の世界が広がります。個性的で凝った作品の数々。非売品もありますが販売している作品もあります。

将来の藝術家を是非応援してください。



題名「紅傘」
東京藝術大学デザイン科 李天歌

歳の市出店一覧

(歳の市出店之図、出店場所順)

- | | | |
|-----|------------------|--------------|
| 壹番 | 吉徳「台東区浅草橋」 | 〇三一三八六三一四四一九 |
| 貳番 | 菊匠「練馬」 | 〇三一三九七八一五五六九 |
| 参番 | 多宝屋「春日部市」 | 〇四八七一六三一九三〇五 |
| 四番 | きじや水門際物店「台東区元浅草」 | 〇三一三八四四一五九〇六 |
| 五番 | 寿幸中島人形「台東区浅草橋」 | 〇三一三八六二一〇三三四 |
| 六番 | 中村屋「中郡二宮町」 | 〇四六三二七一七一二八 |
| 七番 | 伊藤印房「台東区千束」 | 〇三一三八七三二〇四八九 |
| 八番 | 荒井屋「平塚市東八幡」 | 〇四六三二二一六〇九六 |
| 九番 | 箱長「台東区浅草」 | 〇三一三八四三二一八七三 |
| 十番 | 前川印傳「台東区浅草」 | 〇三一三八四七二八八九 |
| 十一番 | 田房染織「武蔵村山市」 | 〇四二五一六〇一〇一六 |
| 十二番 | 谷中堂「台東区谷中」 | 〇三一三八二二二九七 |
| 十三番 | 鈴蔵「練馬区石神井」 | 〇三一六九一三二七二九 |
| 十四番 | 粹屋「台東区浅草」 | 〇三一三八四五一六三二六 |
| 十五番 | 浅草郵便局 | |
| 十六番 | 浅草花やしき「台東区浅草」 | 〇三一三八四二一八七八〇 |
| 十七番 | おがわ「横浜市港南区」 | 〇四五八四二二八三四 |
| 十八番 | ベッ甲イソノガイ「台東区浅草」 | 〇三一三八四五一二二 |
| 十九番 | 笑屋「台東区浅草」 | 〇三一三八四三二二四六八 |
| 二十番 | いち藤「台東区浅草橋」 | 〇三一三八六二二三五二四 |
| 二一 | 桐生堂「台東区浅草」 | 〇三一三八四七二二六八〇 |
| 二二 | 漫画家コーナー | |
| 二三 | 東京藝術大学 | |
| 二四 | 江戸縁起堂「横須賀市」 | 〇四六一八九五〇〇四二 |
| 二五 | 曾根人形「岩槻市」 | 〇四八七五八二二〇〇 |
| 二六 | 多宝屋「春日部市」 | 〇四八七一六三一九三〇五 |
| 二七 | 一龍「春日部市」 | 〇四八七一六三一九三〇五 |
| 二八 | 江戸勝「春日部市」 | 〇四八七一六三一九三〇五 |
| 二九 | たかさぎ「葛飾区高砂」 | 〇三一三六五七一三九七五 |
| 三〇 | むさしや豊山「墨田区石原」 | 〇三一三六二二〇二六二 |
| 三一 | 眼楽亭「葛飾区東金町」 | 〇三一三六〇〇四九〇七 |

江戸の賑わいを今に残す 浅草歳の市

江戸っ子というものはとかく縁起を担いだもので、特に新年を迎えるための準備となれば尚更上々吉を願ひ、歳の市で買ひ揃えたのである。

当時江戸一番の人氣だった歳の市は、江戸一番の盛り場浅草の歳の市であり、この日は浅草寺の納めの観音の日、つまり今年最後の御縁日に行われたのだから、それは大変な人出であり、他の歳の市に大きく水をあけた。観音の市でお宮を振り回し、川柳に読まれたように、歳の市では神棚・注連縄・屠蘇散・重箱・箸・茶碗・三宝・盆栽などと共に、正月の子供の遊びである羽子板・独楽・カルタなども売られていた。

羽子板は文化文政期に入ると羽根突きの道具としてだけでなく、押絵羽子板という装飾的な価値と女の子が生まれた時の祝いの品としての人氣も得たのである。正月のための品々が市中での販売が一般的になると共に羽子板の販売が中心になり、羽子板市という名前が定着したのである。

文扇堂 荒井修



迎春のかたち「押絵羽子板」

お正月の遊びとして広く知られる羽根突き、それに用いる羽子板もまた新春の縁起物として長らく日本人に親しまれてきました。その歴史は古く室町時代以前にさかのぼりますが、歌舞伎の名場面や美麗な舞踊姿などを描いた「押絵羽子板」は、江戸時代後期(一八〇〇年頃)、江戸歌舞伎の隆盛を背景に、浮世絵師の描く役者絵を押絵細工として羽子板に取り付けたのがはじまりです。まだ写真のなかった江戸時代のこと、年末の羽子板市では、その年に評判を呼んだ歌舞伎の舞台をほうふつとさせる羽子板が売られ、これをファンは競うように買ひ求めました。それは若い女性たちにとってスターのブロマイドのような役目を果たし、またその売れ行きは役者の人氣度を示すものでもあったのです。

羽子板は末広がりのめでたい形と、羽根が災厄を「はねのける」に通じることから、その縁起をたつとんで、人々に求められてきました。ゆえに、羽子板特有の定形のなかに躍動的な人物を無理なく収めることが職人の腕の見せどころであり、そこに生まれる様式美こそ押絵羽子板のいのちと申せましょう。

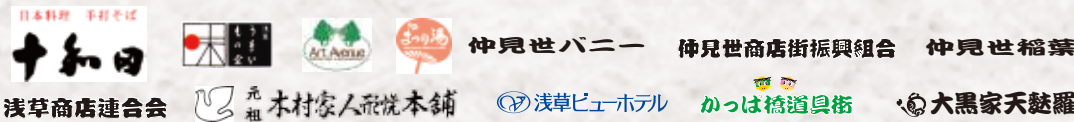
彩り豊かな手わざをめつつ、新たな年の多幸を祈る―押絵羽子板は江戸の粋を伝える「迎春のかたち」なのです。

吉徳資料室 林直輝

期間中、この半纏のスタッフがお世話します。



協賛



新橋演舞場 新春浅草歌舞伎 浅草おかみさん会 浅草専門店会
協力／東京藝術大学デザイン科 花川戸はさだおれ市実行委員会
後援／(協)浅草商店連合会 台東区 東京都 主催／浅草歳の市実行委員会 東京歳の市羽子板商組合 [<http://asakusa-toshinoichi.com/>]

